



総合案内

学部・大学院

附属施設

特色

受験生の皆様へ

イベント情報

在学生・教職員の皆様へ

農学部同窓会

北条キャンパス (農学部附属農場)

樽味キャンパス (農学部(本部))

愛南キャンパス (南予水産研究センター)

宇和島キャンパス (植物工場研究センター)

米野々キャンパス (農学部附属演習林)

四国中央キャンパス (紙産業特別コース)

久万高原キャンパス (森林環境管理特別コース)

[農学部長メッセージ](#)

新着情報 2015年5月21日

[愛媛大学農学部とは](#)

平成28年4月 愛媛大学農学部が変わります

[農学部紹介ビデオ](#)

平成28年4月、愛媛大学農学部が変わります。
(設置申請中)

[オープンキャンパス](#)

農学分野が担うべき社会的責任に対応する「食料」「生命」「環境」をより明確にした3学科(食料生産学科, 生命機能学科, 生物環境学科)に改組するとともに, 特に社会からの要請の高い分野については, 修士課程までの6年一貫教育を行う特別コースを設置して人材を育成します。
詳細は, 以下のページをご参照ください。

[農学部就職情報サイト](#)

[平成28年4月 愛媛大学農学部が変わります\(パンフレット\)](#)

[教員一覧](#)

[公開講座\(全学イベントカレンダーへ\)](#)

[▲このページのトップへ](#)

[教員公募](#)

[農学部紀要](#)

[SUIJI-SLP](#)

[愛媛大学「現代GP」](#)

[愛媛大学「食育」実践プログラム](#)

[農学部内専用HP](#)

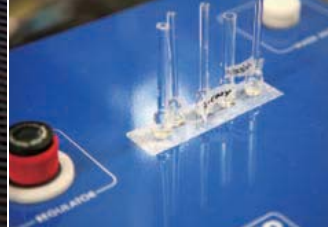
[リンク集](#)

[愛媛大学農学部附属農場](#)



CATE

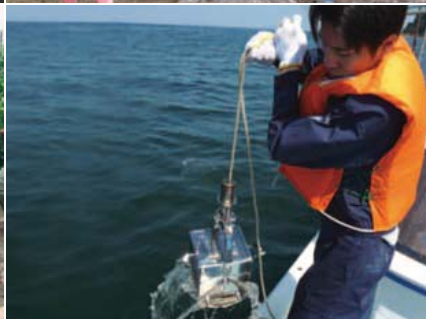
愛媛大学農学部附属環境先端技術センター



平成28年4月 愛媛大学農学部が 変わります

know学

国立大学法人 愛媛大学農学部
Faculty of Agriculture Ehime University





農学部長 柿沼 喜己

「農学」の役割は、生命現象を解明するとともに、生物を資源として利用して、安全・安心な食料の安定的供給、生物環境の創造・修復・保全・管理・利用に貢献することです。また、このことを通じて、地域社会や国際社会が抱える「食料」「生命」「環境」に関する様々な問題を解決し、自然と人間が調和する循環型社会を創造できる人材を育成することが、農学部にあります。

愛媛大学農学部は、学生の皆さんが各々の才能を最も発揮できる専門分野で活躍してもらうことを目的として、教育組織を改編し、平成28年4月から、3学科による専門教育を中心とした体系的な教育システムに移行します。また、今後、新たに社会からの要請が高くなると予想される分野については、大学院修士課程までの6年一貫教育を行う特別コースを設置します。

「食料」「生命」「環境」に関する様々な問題の解決に熱意をもつ皆さんの入学を期待しています。

農学部は変わります

POINT 1 「食料」「生命」「環境」の3学科制に移行します。

現在の1学科制(生物資源学科)から、農学分野が担うべき社会的責務に対応する「食料」「生命」「環境」をより明確にした3学科制(食料生産学科、生命機能学科、生物環境学科)に移行します。さらに、それぞれの学科の中の特定の分野をより深く学ぶために、各学科に1~3つのコースを設置し、その分野で社会に貢献できる人材を育成します。

POINT 2 広い視野と高い専門知識を身につけ、それを活かす能力を習得できます。

入学した学生は、1年次は全学の共通教育科目を履修するとともに、学部共通科目、学科共通科目を履修することによって、所属する学科に必要な俯瞰的な視野を身に付けます。2年次になる時により深く学ぶ分野(コース)に分かれ、学科共通科目、コース専門科目を履修して専門性を高めます。3年次後学期から卒業論文に取り組み、汎用的能力を身に付けます。

POINT 3 新たに設置された特別コースで、スペシャリストや研究者を育成します。

各学科の中に、今後、新たに社会からの要請が高くなると予想される分野として、特別コースを設置しました。これらの特別コースは、修士課程まで進学することを前提とした6年一貫教育で、この分野のスペシャリストや研究者を育成します。これらの特別コースの入試では、受験生が確かな基礎学力、明確な目的意識、強い意志を持っていることを確認するために、AO入試IIを採用します。

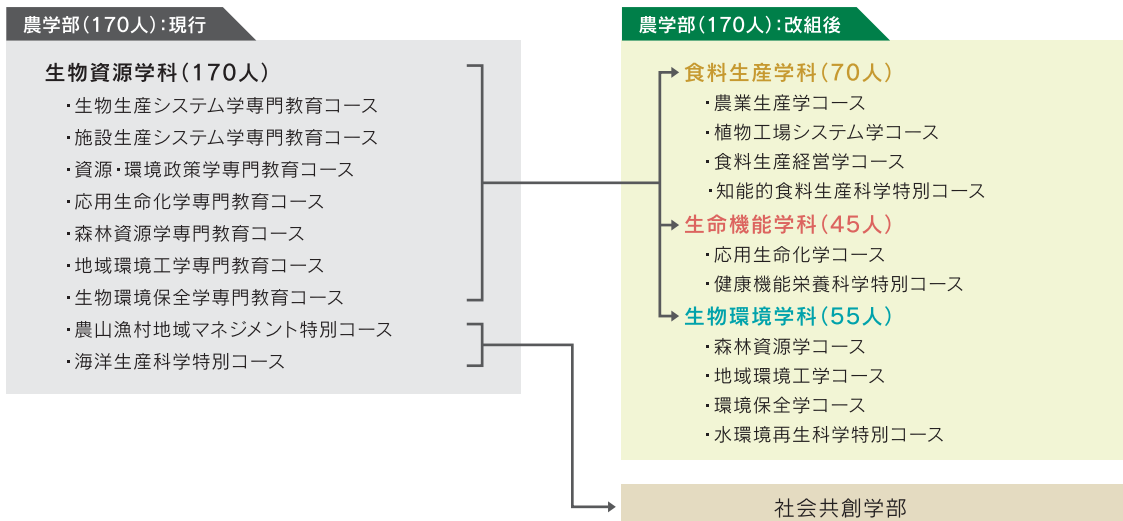
POINT 4 進路変更の希望にも柔軟に対応します。

在学中のキャリアデザイン(進路)変更にも柔軟に対応するため、在学中の転学科、転コース制度を見直しました。

※現在農学部設置している「農山漁村地域マネジメント特別コース」「海洋生産科学特別コース」に相当するコースは、平成28年度に新設される「社会共創学部」の中に設置されます。(平成28年度から、学生を受け入れます。)

※大学院農学研究科(修士課程)も学部と同時に、地域産業や農業に関わるコースを含む3専攻14コース(3特別コースを含む)に教育組織を改編します。

農学部の教育組織



社会共創学部の設置については、設置申請中であり、変更する場合があります。

■ 食料生産学科

生物生産技術の開発と食料の安定供給

食料生産学科では、農学分野が担うべき「安全で安心な食料の安定的供給」を実現するため、圃場、栽培施設、植物工場などにおける植物生産と、収穫物の流通、貯蔵、加工、販売のプロセスに関する教育研究を行います。また、社会的ニーズの高い「6次産業化」に対応するためには、栽培、収穫、流通、貯蔵、加工、販売まで広範な知識が要求され、「スマートアグリ」に対応するためには、最先端のICT、植物生体計測技術、コンピュータによる解析技術などが要求されます。

そこで、人材育成の観点からは、植物学、栽培学、生態学、生物環境調節学などをベースとし、これに分子生物学的な知識・手法、経営学やフィールド調査などの社会的知識・手法などを加え、環境保全型農業から植物工場による植物生産まで様々な形態の食料生産に必要な広範な知識や技術を教授し、食料の安定的生産・供給に貢献できる人材を育成します。

■ 食料生産学科にある教育コース

- ・農業生産学コース
- ・食料生産経営学コース
- ・植物工場システム学コース
- ・知的食料生産科学特別コース(6年一貫)



- ① 稲の栽培試験
- ② 植物工場での実習
- ③ 農家へのヒアリング調査実習

■ 生命機能学科

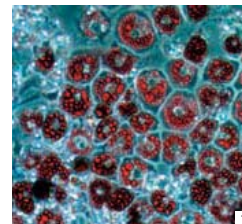
生命機能の解明と生物資源の利用

バイオテクノロジーを基本とする生命科学は、生命現象の解析を通して、健やかな生活や健康長寿社会の達成など、生命に関する様々な領域への貢献が期待されている学問分野です。

生命機能学科では、有機化合物、タンパク質、核酸、酵素などの分子から、微生物、動・植物細胞、さらには個体に至る様々なレベルにおける生命現象を化学のメスを使って解明する基礎領域から、バイオテクノロジーを駆使した革新的技術の創出、機能性食品や医薬品の開発などの応用領域へと展開することを目的とした教育研究を行います。生命機能を解明し、生物資源を有効活用することで、社会に貢献しています。生命科学に関する広範な講義科目によって生命現象や生命機能に対する理解を深めるとともに、多彩な実験科目やインターン科目により、様々な課題に対応できる汎用的・実践的能力を身に付けることで、食品、化学、医薬など、多岐にわたるバイオ関連産業で活躍できる人材を育成します。

■ 生命機能学科にある教育コース

- ・応用生命化学コース
- ・健康機能栄養科学特別コース(6年一貫)



- ① 脂肪細胞内における脂肪(写真赤色)の蓄積抑制物質の探索
- ② 企業と学生の協働による機能性食品開発
- ③ 遺伝子組換え実験(緑色蛍光タンパク質(GFP)の発現)

■ 生物環境学科

生物環境の創造・修復・保全・管理・利用

農学の大きな使命の一つは、自然と人間が調和する循環型社会の創造です。そして、その実現のためには、人間と生物を取り巻く様々な環境、例えば、森林、農地、河川、湖沼、溜池、海洋といった、山から海に至る広範囲の環境を創造・修復・保全・管理・利用するための高度な科学知識や技術を習得することが必要です。

生物環境学科では、山から海に至る広範囲の現場で実際に生じている環境問題と、それらへの対応の実状を理解し、地域規模から世界規模の範囲で活躍できる人材を育成します。具体的には、土・水・生態系などに対する環境の計測・分析・解析に関する先端的手法や環境改善手法と、その基盤となる、化学、生物学、物理学などの分野の基礎的・工学的知識を教授し、人類と生物が安全で快適に共存できる環境を提供できる人材を育成します。

■ 生物環境学科にある教育コース

- ・森林資源学コース
- ・環境保全学コース
- ・地域環境工学コース
- ・水環境再生科学特別コース(6年一貫)



- ① ツリークライミング(森林調査)
- ② 環境汚染物質の化学機器分析
- ③ 河川環境の現地調査

取得できる主な資格

◎関連科目の修得と卒業により、受験することなく取得できる資格

免許資格	学科・コース
教育職員免許状 中学校教諭一種免許状(理科) 高等学校教諭一種免許状(理科・農業)	学科により取得できる免許科目が異なります(申請中)
学芸員	全学科
毒物劇物取扱責任者	生命機能学科
食品衛生管理者及び食品衛生監視員	生命機能学科
技術士補	生物環境学科 地域環境工学コース(農業土木プログラム)
測量士補	生物環境学科 森林資源学コース 生物環境学科 地域環境工学コース(農業土木プログラム)

◎関連科目の修得と認定試験の合格により取得できる資格

免許資格	学科・コース
愛媛大学食育士	全学科

◎卒業により受験資格が得られるもの

免許資格	学科・コース
技術士補	全学科
甲種危険物取扱者	生命機能学科
上級バイオ技術者	生命機能学科

想定される主な進路

学科	主な進路先
食料生産学科	<ul style="list-style-type: none"> ・食料の生産、加工・製造、販売や流通に関わる企業、団体等 ・農業ICTに関わる情報関連企業等 ・公務員 ・進学(大学院修士課程)
生命機能学科	<ul style="list-style-type: none"> ・化学・食品、医薬などに関する企業、団体等 ・食品産業での品質管理や開発、研究職 ・公務員、食品衛生監視員 ・進学(大学院修士課程)
生物環境学科	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に関する企業、団体等 ・農業土木に関する企業、団体等 ・木材加工・流通に関する企業、団体等 ・建設・住宅に関する企業、団体等 ・公務員 ・進学(大学院修士課程)

入試方法

入試区分		選抜方法
一般入試	前期日程	センター試験(5教科7又は8科目) 個別学力検査(数学、理科(物理、化学、生物、地学から1科目選択))
	後期日程	センター試験(5教科7又は8科目) 個別学力検査等(面接(口頭試問を含む。))
推薦入試Ⅰ	A [普通科又は理数に関する 学科対象]	個別学力検査等(総合問題、面接(口頭試問を含む。))
	B [専門教育を主とする学科 又は総合学科対象]	個別学力検査等(総合問題、面接(口頭試問を含む。))
AO入試Ⅱ [知的食料生産科学特別コース] [健康機能栄養科学特別コース] [水環境再生科学特別コース]		センター試験(5教科7又は8科目) 個別学力検査等(面接、口頭試問)

※別途、社会人入試、私費外国人留学生入試も実施予定です。

詳細情報は、愛媛大学ホームページ(<http://www.ehime-u.ac.jp/>)の「受験生の方」の中の入試に関する情報でお知らせしております。
今後さらに変更する可能性があり、随時上記ホームページにてお知らせしますのでご注意ください。



国立大学法人
愛媛大学農学部

〒790-8566 愛媛県松山市榑味3丁目5番7号
TEL:089-946-9806
ホームページ: <http://www.agr.ehime-u.ac.jp/>

 EHIME UNIVERSITY